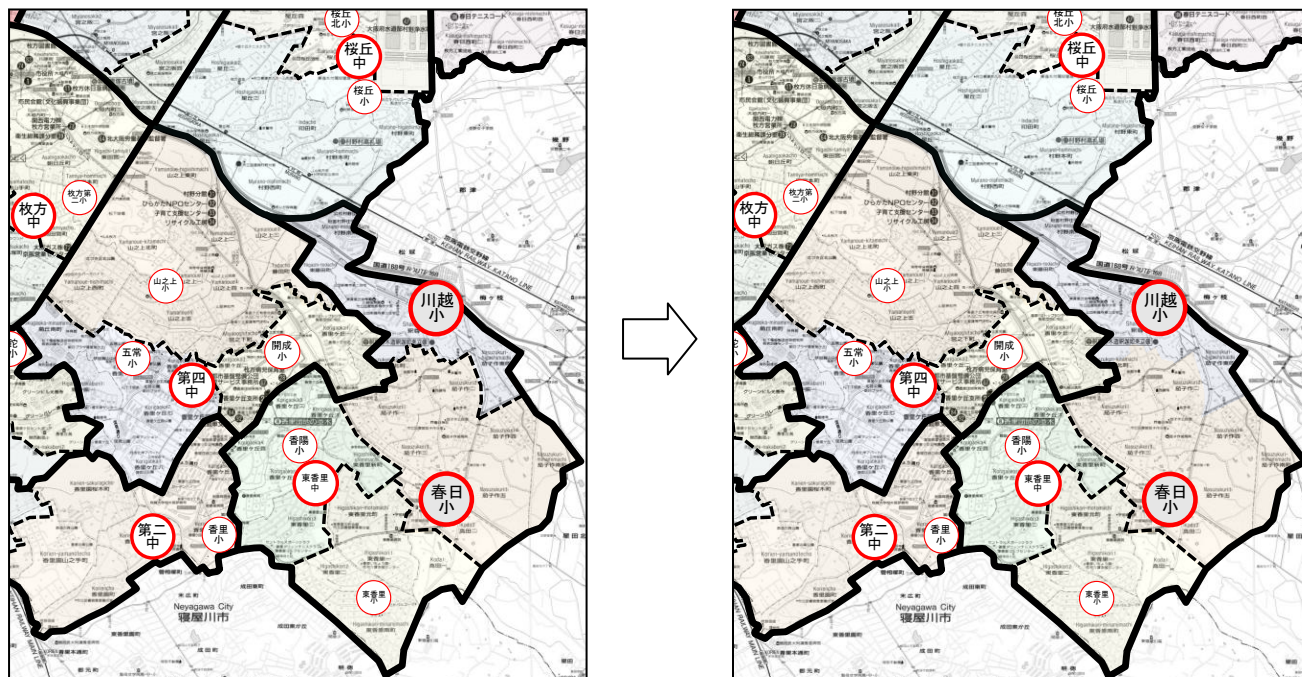


★ (方策番号) 南部 A

(1) 川越小学校

● 春日小学校と新設統合する。  
ア. 春日小学校敷地に統合校を設置する。



1. 学校規模

(1) 学級数・児童数の将来推計

(現行推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
川越小	学級数 (CL)	12 (2)	12	11	10	9	9	8	10	6	6	6	6
	児童数 (人)	312 (9)	298	271	250	231	224	206	228	209	190	164	136
春日小	学級数 (CL)	19 (4)	18	17	18	18	17	16	18	12	12	12	12
	児童数 (人)	562 (19)	571	566	570	540	507	492	458	406	378	359	332

(統合後の推計)

		H27				H31	H32	H33	H35	H40	H45	H50	H55
統合校	学級数 (CL)	26 (5)				24	22	21	22	18	18	18	18
	児童数 (人)	874 (28)				771	731	698	686	615	568	523	468

(2) 住宅開発等の情報

- ・川越小学校の校区は、一部農地は存在するものの、ほとんどが既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない。
- ・春日小学校区は、多くの農地が存在する府道枚方交野寝屋川線から東側の地域は市街化調整区域であり、用途地域等から新規の住宅開発は見込めない。その他の地域は既存の住宅地であり、新規の大規模住宅開発は見込めない。

2. 施設規模

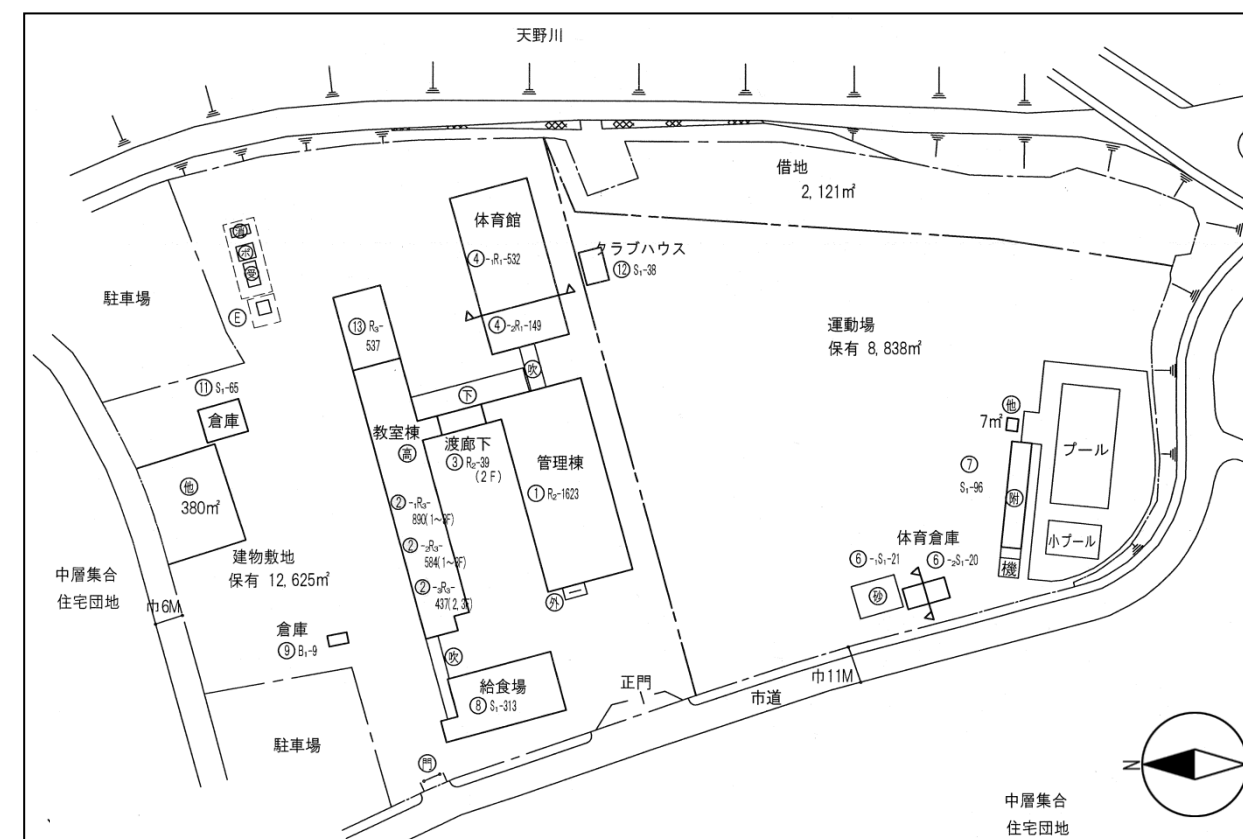
(1) 学校用地の状況

	建物敷地面積	運動場面積	その他面積	敷地面積	形状等
川越小学校	12,625 m <sup>2</sup>	10,959 m <sup>2</sup>	—	23,584 m <sup>2</sup>	法敷なし。ほぼ整形。借地 2,121 m <sup>2</sup> (大阪府：無償)
春日小学校	7,233 m <sup>2</sup>	7,741 m <sup>2</sup>	—	14,974 m <sup>2</sup>	法敷なし。不整形。

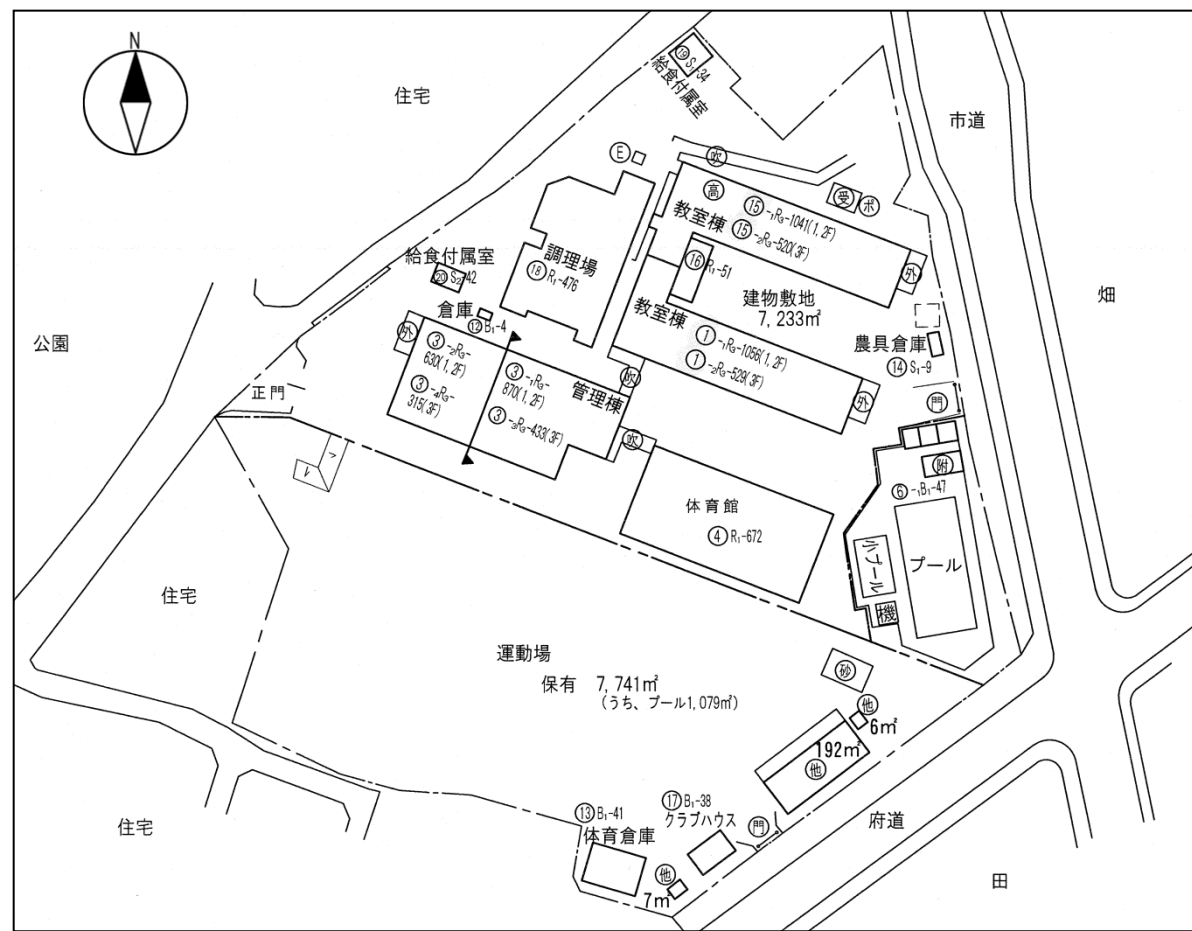
\* 小学校設置基準面積 (運動場)

統合した場合の最大児童数 (771 人)	7,200 m <sup>2</sup> (*721 人以上 = 7,200 m <sup>2</sup> )
----------------------	---

(川越小学校 配置図)



(春日小学校 配置図)



(2) 建物の状況

学校名	棟の種類	棟番号	構造区分	階数	建築年	保有面積
川越小学校	校舎(保有教室数:20教室)					4,071
	管理棟	1	R	2	S52.3.1	1,623
	教室棟	2	R	3	S52.3.1	1,911
	教室棟	13	R	3	S57.3.1	537
	体育館	4	R	1	S52.3.1	681
	その他					288
春日小学校	校舎(保有教室数:30教室)					5,394
	教室棟	1	R	3	S41.3.1	1,585
	管理棟	3	R	3	S45.3.1	2,248
	教室棟	15	R	3	S41.3.1	1,561
	体育館	4	R	1	S46.3.1	672
	その他					190

\* 小学校設置基準面積 (校舎)

統合した場合の最大児童数 (771人)	3,720 m <sup>2</sup> (*2,700 m <sup>2</sup> + 3 m <sup>2</sup> × (771人 - 480人))
---------------------	---

\* その他 留守家庭児童会室の状況

学校名	定員 (H27.4.1 現在児童数)	余裕教室使用状況	専用施設床面積 (m <sup>2</sup> )
川越小学校	50 (48)	—	168.39
春日小学校	139 (108)	1 教室	139.78

(3) 施設整備の予定

- (川越小学校) 学校施設整備計画の第2期実施計画整備候補施設 (建築後 30年以上)
- (春日小学校) 学校施設整備計画の第1期実施計画整備候補施設 (建築後 40年以上)

(4) 増築等の必要性

	統 合 校
	ア 春日小学校敷地に設置
最大時における必要教室数	36 教室 (通常学級 24CL + 支援学級 5CL + 多目的室等 7 教室)
パーティーション対応時	33 教室 (通常学級 24CL + 支援学級 4 教室 + 多目的室等 5 教室)
不足数 (パーティーション対応時)	6 教室 (3 教室)
増築等の方法	増築スペースなし

3. 通学区域

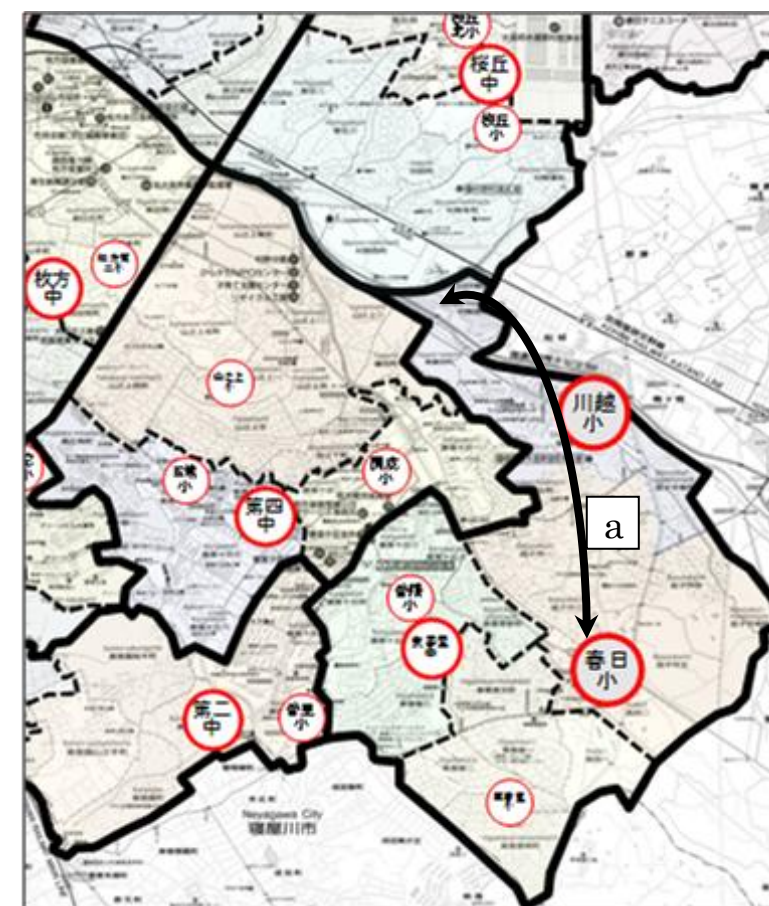
(1) 最長通学距離

(現行)

学 校 名	最長地域	距 離
川越小学校	村野南町 3 番付近	約 1.2km
春日小学校	茄子作北町 40 番付近	約 1.2km

(統合後)

統 合 校	最長地域	距 離
ア 春日小学校敷地に設置	村野南町 3 番付近 …… a	約 2.6km



★ (方策番号) 南部 A

(1) 川越小学校

(2) 校区の状況

	統 合 校
	ア 春日小学校敷地に設置
不自然な通学 様態の有無	開成小学校に近い地域が多い。
地形地物による 地域分断の有無	国道 168 号線、第二京阪道路、府道枚方交野寝屋川線、府道木屋交野線、 市道山之上高田線、天野川あり。
校区における 学校の位置	東西方向のほぼ中央、南北方向の南端に位置する。
通学区域の 広さ・形状	東西方向 1.3km 南北方向 2.6km で、不整形
その他	一部バス路線あり。

4. 小中連携

	統 合 校
	ア 春日小学校敷地に設置
進学中学校	東香里中学校（現行と同様）
「一小一中の」 接続関係の確保	確保できる。（現行と同様）
中学校区を変更 する場合における 中学校の学校規模	—
小中一貫校（一体型） の設置可能性	なし。
統合後中学校区にお ける最長通学距離	村野南町 3 番付近…約 2.5km（現行と同様）
通学支援策等	一部バス路線あり。

5. 地域連携

(1) 自治会等の区域

- ・学校統合後の自治会分断の有無：なし

(2) 学校の沿革等

	川越小学校	春日小学校
設置年月	・昭和 52 年 春日小、山之上小から 分離開校	・昭和 41 年 香里小、開成小から分離 開校
沿革等	・平成 12 年 村野小の一部を統合	・昭和 52 年 川越小に一部分離 ・昭和 57 年 東香里小に一部分離